



## ■はじめに

本ドキュメントでは、AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダのファームウェア バージョン 5.4x 以降で、トリガー入力があった際に画像を FTP サーバへ送信するための設定手順を説明します。

## ■トリガーとなる条件

画像を送信するトリガーには以下のものがあります。

※機種によって、これ以外の条件が選択可能な場合もあります。

### Applications

カメラにインストールされたアプリケーションによる検知

### Detectors

動体検知、音声検知、いたずら検知、デイナイトモード検知

### Hardware

温度異常検知、ネットワーク接続異常検知

### Input Signal

I/O ポート状態遷移検知、Trigger ボタンを押下時

### Storage

正常性確認、容量オーバーなど

### System

カメラが起動している時

### Time

任意のスケジュール



## ■設定手順

### 手順 1: AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定ページにアクセスする

1. Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. root ユーザーにてログインします。
4. Live View ページ右上の「Setup」リンクをクリックします。

※以降の設定はこの Setup ページの中で行います。

### 手順 2 : 画像送信先サーバを登録する

1. 「Events」 - 「Recipients」を開きます。
2. 「Add」をクリックします。
3. 画像送信先の FTP サーバに関する情報を登録します。

#### Name

FTP サーバの名前を任意で設定します（半角英数）。

#### Type

FTP を選択します。

#### Network address

画像送信先 FTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を指定します。

※FTP サーバをホスト名で指定する場合は、「System Options」-「Network」-「TCP/IP」-「Advanced」の「Primary DNS server」と「Secondary DNS Server」に、AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダが参照できる DNS サーバの IP アドレスを設定してください。DNS サーバの IP アドレスが不明な場合、同一ネットワークにある PC で、コマンドプロンプトから ipconfig /all というコマンドを実行すると確認できます。

#### Upload path

ファイル送信先ディレクトリのパスを指定します。ホームディレクトリに画像を送信する場合は空白のまま、サブディレクトリに画像を送信する場合はディレクトリ名を指定します。さらに下位のディレクトリを指定する場合は¥マークを利用します。

例) ホームディレクトリ以下の「camera1」ディレクトリに、「event」というフォルダを作成して、そこに画像を保存する場合は、camera1¥event と記述します。

Port number

FTP サーバの接続先ポート番号です。FTP サーバ管理者より特に指定がなければ変更は不要です。

User name

FTP サーバへログインする為のユーザー名を指定します。

Password

FTP サーバへログインする為のパスワードを指定します。

Use passive mode

FTP サーバへの接続にパッシブモードを利用する必要がある場合はチェックします。

Test

設定した内容で FTP サーバへのファイルアップロードが可能かテストします。

The screenshot shows the 'Recipient Setup' dialog box with the following fields and annotations:

- Name:** New Recipient
- Type:** FTP (dropdown menu) **FTP を選択**
- Network address:** (empty text box) **FTP サーバのホスト名または IP アドレスを入力**
- Upload path:** (empty text box) **ファイル送信先ディレクトリパスを指定**
- Port number:** 21 **FTP サーバのポート番号**
- Login Credentials:**
  - User name:** Guest **FTP ログインユーザー名**
  - Password:** (empty text box) **FTP ログインパスワード**
- Advanced Settings:**
  - Use passive mode **パッシブモード利用時にはチェック**
- Test:**
  - Test the connection to the specified FTP server  **設定内容での送信テスト**
  -

設定が完了したら「OK」をクリックし保存します。

### 手順 3：アクションルールを設定する

1. 「Events」 - 「Action Rules」を開き、「Add」をクリックします。
2. 「Action Rule Setup」ウインドウで、実行するイベントをルールとして設定します。

#### Enable rule

本ルールを有効にするにはチェックを入れます。

#### Name

ルールの名前です。半角英数で任意の名前を設定してください。

#### Trigger

利用するトリガーを選択します。

#### Schedule

24 時間 365 日連続してイベントを実行する場合：

「Always (No Schedule)」を選択します。

スケジュールを利用する場合：

スケジュール名を選択します。

#### Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合にチェックを入れ、トリガー条件を選択します。

イベントを実行した後、再びトリガーを受け付けるまでに待ち時間を設ける場合は「Wait at least xx:xx:xx before re-running the rule」に時間を指定します。

#### Type

実行するイベントの種類です。FTP サーバへ画像を送信する場合「Send Images」を選択します。

#### Stream Profile

送信する画像の設定をストリームプロファイルから選択します（ストリームプロファイルは「Video & Audio」 - 「Stream Profile」で設定できます。）カメラのデフォルトの画像設定を利用する場合、こちらは変更不要です。

#### Image Frequency

送信したい映像のフレームレートの目標値を設定します。単位は秒・分・時間を選択できます。

### Duration

撮影継続時間を以下のいずれかから選択します（複数選択も可能）。24 時間 365 日連続してイベントを動作させたい場合は「While the rule is active」を選択してください。

- ・ Pre-trigger time x seconds … イベントが起動する直前の画像を撮影します（単位：秒）。
- ・ While the rule is active … スケジュールやトリガー入力アクティブな間だけ撮影します。
- ・ Post-trigger time x seconds … イベントが起動してからの画像を撮影します（単位：秒）

追加設定として以下を設定できます。

- ・ Send only the first xx images … 撮影が開始してから最初の xx 枚の画像だけを送信する。

### **注意：**

- ・ プリ/ポストバッファの画像を送信処理中に次のトリガーが入った場合、そのトリガーは無視されます。
- ・ 画像送信先の FTP サーバの接続に失敗した場合、画像は破棄されます。
- ・ 指定した撮影間隔の合計サイズが カメラのバッファ容量をオーバーした場合、正しく送信されません。そのような場合、カメラのログファイルに「Cache full」のメッセージが残りますので、撮影間隔や撮影時間を減らしてください。

### Recipient

手順 2 で設定した送信先の FTP サーバをリストから選択します。

### Create Folder

ファイル送信時にフォルダを作成する場合、フォルダ名を設定します。引数を利用して日付や時刻をフォルダ名として設定することもできます（詳しくは画面下の「See help for more information」リンクをクリックしてください）。

### Base file name

ベースとなる画像ファイル名を任意で指定します。また、以下のオプションを選択するとファイル名の末尾に文字列を付加できます。

- ・ Add date/time suffix

画像ファイル名に日付と時刻を付加する場合に選択します

- ・ Add sequence number suffix (no maximum value)

画像ファイル名に、数の上限の無い連番を付加する場合に選択します

- ・ Add sequence number suffix up to

画像ファイル名に数の上限を設けて連番を付加する場合に選択し、上限値を設定します

- ・ Overwrite/Use own file format

常に同名で上書きします。

### Action Rule Setup

Enable rule イベントを有効にするにはチェック

Name:  x 任意のイベント名称（半角英数）

**Condition**

Trigger:  トリガーをプルダウンより選択

Is initialized:  Yes  No

Schedule:  スケジュールの選択（常時の場合は Always を選択）

Additional conditions その他の条件を追加する場合はチェック

**Actions**

Type:  アクションの種類（Send Image を選択）

Stream profile:  ストリームプロファイル

Image frequency:  frame(s) per  フレームレート（秒/分/時）

Duration:  Pre-trigger time  second(s)  
 While the rule is active 撮影継続時間  
 Post-trigger time  second(s)  
 Send only the first  images

Recipient:   送信先サーバを選択

\*Create folder:  フォルダを作成する場合フォルダ名を記載

\*Base file name:  画像ファイル名

ファイル名に付加  
する文字列

Add date/time suffix  
 Add sequence number suffix (no maximum value)  
 Add sequence number suffix up to  and then start over  
 Overwrite/Use own file format.

[\\*See help for more information](#)

※エンコーダーでビデオチャンネルがある場合は、送信したいビデオソースを選択します。

**Actions**

Type:

Select video source:  Video 1  
 Video 2  
 Video 3  
 Video 4  
 Quad Stream

設定が完了したら「OK」を押下し保存します。

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2014 年 1 月現在のものです。

登録したイベントは一覧に表示されます。 イベントの有効/無効はチェックボックスで行えます。送信先サーバを登録済の他のサーバへ変更したい場合は Recipient プルダウンメニューから選択してください。

**Action Rules**

Action Rule List

Name	Trigger	Schedule	Action	Recipient
<input checked="" type="checkbox"/> New Rule	Time - Recurrence	-	Send Images	FTP serve

チェックを外すとスケジュールを無効にできます

リストから送信先サーバを変更できます

Add... Copy... Modify... Remove

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2014 年 1 月現在のものです。